5万分の1地質図幅の新刊

八　　幡
HACHIMAN

5万分の1地質図幅地域地質研究報告

著　　者　脇田浩二
発　　行　工業技術院　地質調査所
取 扱 先　東京地学協会（03)261-0809　262-1401
　　そのほか全国主要書店
販売価格　3,170円

「八幡」地域は　日本の中央部“へそ”の部分に位置しています．　この地域の東部には　盆踊りで有名な郡上八幡（郡上郡八幡町）があり　図幅の名前は　この街に由来しています．

「八幡」地域に最も広く分布しているのは　古くから“秩父古生層”と呼ばれていた地層です．　この地層は　砂岩や泥岩・チャート・石灰岩・緑色岩類などからなっています．　このうち石灰岩は　郡上八幡のすぐ南に大きな岩体があって　その中に出来た鐘乳洞は多くの観光客を集めています．　この鐘乳洞のまわりの石灰岩をよく見ると　数mmぐらいの大きさのフズリナという化石が入っています．　この化石が古生代（二畳紀）の化石なので　この石灰岩を含む地層は　長い間古生層であると考えられていました．

最近になって　石灰岩を取り囲んで　石灰岩よりずっと沢山ある泥岩や砂岩の中から相い次いで　ジュラ紀の中期の化石が発見されました．発見されたジュラ紀中期の化石は　放散虫やアンモナイトで　フズリナよりも約1億年も新しい時代のものでした．

「何故だろう．」そう考えて　地層をよく調べてみると　砂岩や泥岩は海底地すべりによって変形していました．　そして石灰岩やチャート・緑色岩類は　泥岩や砂岩の中に孤立した岩体として点在していることが分かりました．　チャートや緑色岩類の中からもジュラ紀中期より古い化石を産することも明らかになりました．　これらのことから　ジュラ紀に起こった海底地すべりの際に古い時代の岩石が　泥岩や砂岩の中にころがり込んだと考えられるようになりました．　このようなわけでこの「八幡」図幅では　これらの地層をジュラ紀中期の地層にしてあります．

「八幡」地域のジュラ紀中期の地層の上には　白亜紀後期の流紋岩―流紋デイサイト質の火砕岩類が不整合に覆っています．これらの火砕岩類には　ほぼ同時期の半深成岩・深成岩類が伴っています．

地域北東隅には　鮮新統の湖成層や（阿多岐層）や鮮新―更新統の安山岩質凝灰角礫岩を主体とする烏帽子火山岩類がわずかに分布しています．

第四系は　主要河川沿いに段丘堆積物　崖錐及び小扇状地堆積物　現河床堆積物がわずかに分布するにすぎません．

以上が「八幡」地域のオールスターキャストであります．乞御一読！

地質ニュース　第367号　3月号
定価 ¥600　〒実費
昭和60年3月1日　発行
編集　工業技術院地質調査所
発行人　林　久　雄
発行所　株式会社 実業公報社
東京都千代田区九段南4の2の12
〒102
Tel.　(03)265-0951(代表)
振替口座　東京1-32466
総発売元　株式会社 実業公報社 出版事業部

©1985 Geological Survey of Japan